

2026 年 1 月 22 日

アイリスオーヤマ・岡山県が包括連携協定締結 当社初、中国・四国エリアの都道府県と包括連携 東日本大震災の知見を活かした災害対策や県産品の販売促進などで連携



包括連携協定式（左：アイリスオーヤマ株式会社 代表取締役会長 大山 健太郎、右：岡山県 知事 伊原木 隆太 様）

アイリスオーヤマ株式会社（本社：宮城県仙台市、代表取締役社長：大山 晃弘）は、岡山県と2026年1月22日に包括連携協定を締結し、岡山県庁にて協定締結式を行いました。なお、中国・四国エリアの都道府県との包括連携協定は当社として初めてです。

当社は、岡山県瀬戸内市内の第2宮下産業団地に、中国・四国地方及び西日本全域に向けたパックごはんの製造・物流拠点となる「岡山瀬戸内工場」を新設することに伴い、2024年に岡山県瀬戸内市と立地協定及び包括連携協定を締結しています。今回は、より広範な行政課題を解決するため岡山県と包括連携協定を締結します。

■協定内容

当協定により岡山県と当社は相互の連携を強化することで、双方が保有する資源を有効に活用して地域の活性化を推進します。災害対策については、岡山県における災害発生時の迅速な必要物資の供給や、東日本大震災で被災経験のある当社の知見を活かした防災に関する啓発活動などを行っていきます。また、地域産業の振興については、まずは岡山県産海苔の販売促進を行い、スポーツ振興についてはアスリートの就職支援や地域クラブ活動指導者の就労支援などを行っていきます。

【岡山県知事 伊原木 隆太 様 より】

アイリスオーヤマ株式会社に岡山県瀬戸内市への工場進出を決めていただいた際は大変喜ばしく感じたことを鮮明に覚えております。それに加えて、包括連携協定を締結させていただき、さらなる連携体制を構築できたことに感謝申し上げます。工場の立地に続き、今回の協定締結により、災害対策や青少年の工場見学、アスリートの雇用など様々な分野における事業が展開されることを楽しみにしております。

【アイリスオーヤマ株式会社 代表取締役会長 大山 健太郎 より】

当社は本社が宮城県にあり、東日本大震災の被災経験を活かした災害対策として、当社が展開している防災用品や、岡山瀬戸内工場でも製造する予定のパックごはんのほか、飲料などの物資を非常時にも迅速に供給できる体制を構築してまいります。また、スポーツ分野では、選手引退後の雇用支援も行います。今後とも、岡山県の発展に貢献してまいります。